



平成27年2月19日

各 位

三重県四日市市日永二丁目3番3号  
会社名 アップルインターナショナル株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 久保 和喜  
(コード番号：2788 東証マザーズ)  
問合せ先 管理本部長 清水 茂記  
TEL (059) 347-3515

## 平成26年12月期通期業績予想と実績値との差異並びに 営業外費用及び特別損失に関するお知らせ

平成26年2月19日に公表しました平成26年12月期通期業績予想と本日公表の実績値について、差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想との差異

平成26年12月期通期業績予想数値との差異(平成26年1月1日～平成26年12月31日)業績予想数値の修正

#### 【連結】

	売上高	営業利益	経常利益 及び 経常損失 (△)	当期純利益 及び 当期純損失 (△)	1株当たり 当期純利益 及び 1株当たり 当期純損失 (△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	46,466	988	208	61	4.90
今回実績値(B)	40,707	589	△759	△1,030	△82.71
増減額(B-A)	△5,758	△398	△967	△1,091	—
増減率(%)	△12.4	△40.3	—	—	—
(ご参考) (平成25年12月期)	31,024	747	19	50	4.05

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益額を算定しております。

#### 2. 差異が生じた理由

売上高については、中国子会社の主力商品であるメルセデスベンツの販売台数が前年に対し増加となりましたが、中国子会社における当初予定販売台数の未達により、当初予想を下回る結果となりました。

営業利益については、中国子会社の広告宣伝費等の増加により、当初予想を下回る結果となりました。

また、経常利益については、3. 営業外費用の計上に記載のとおり営業外費用に計上、当期純利益については、4. 特別損失の計上に記載のとおり特別損失を計上したことから当初予想を下回る結果となりました。

その結果、当初予想と実績値に差異が生じました。

### 3. 営業外費用の計上について

マレーシアのディーラー向け自動車販売において発生した長期滞留債権及び中国子会社が保有しております固定資産の取引において発生いたしました債権等に対し回収可能性を検討した結果、貸倒引当金繰入額 771 百万円を営業外費用に計上しております。

また、中国子会社の借入金利の負担が増えたこと等により、当初予想より支払利息が 128 百万円増加いたしました。

### 4. 特別損失の計上について

#### ① 関係会社株式売却損

平成 26 年 5 月 12 日に持分法適用関連会社株式の売却及び特別損失の発生に関するお知らせをリリースいたしましたとおり、当社の子会社を通じて保有している BEST VENTURE (HK) LIMITED (持分法適用会社) の全株式を売却したことにより、310 百万円を関係会社株式売却損として特別損失に計上しております。

#### ② 関係会社事業損失引当金繰入額

平成 26 年 12 月期において当社の子会社であった PRIME ON CORPORATION LIMITED の事業見直しに伴う損失に備えるため、当社及び当社子会社の A. I. HOLDINGS (HONG KONG) LIMITED が負担することとなる損失の見込額に対し 434 百万円を関係会社事業損失引当金繰入額として特別損失に計上いたしました。

詳細につきましては、本日開示しております「平成 26 年 12 月期決算短信」をご参照下さい。

以上